



熊野東中通信 NO.5



東中キャラクター
あずぽん

自律する

令和8年7月17日号

～やり切る力の育成を通して～

熊野町立熊野東中学校 校長 木佐木 太郎

〒731-4213 安芸郡熊野町萩原一丁目23番1号

TEL082-854-7111 e-mail: higasijh@piano.ocn.ne.jp

<http://kuma7111.ec-net.jp>

東中 HPQR コード



1学期が終わりました！

7月17日(金)に1学期の終業式を行いました。1学期は、体育祭、生徒総会、職場体験学習、部活動における様々な大会など、生徒一人一人の活躍する姿をたくさん見ることができました。特に体育祭での生徒たちの頑張りは、保護者や地域の方たちから多くの評価いただくなど、行事を通して成長する姿を見ることができました。保護者、地域の皆様には日ごろから温かいご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございました。

さて、終業式では、本校の学校教育目標について、あらためて生徒の皆さんに話しをしました。熊野東中学校が目指していることについて、生徒や教職員はもちろん、保護者、地域の皆様とも共有し、今後も取組を進めていきたいと思ひます。

<終業式式辞(抜粋)>

熊野東中学校の学校教育目標は、「自律する」です。「自律する」ということは、「自分で考え、判断し、行動して、その結果に責任をもつ」ことです。今の世の中は正解がわかりにくい世の中だと言われています。このような世の中では、その時々で、自分で考え、判断し行動できるようになることが大切です。また、それと同時に、行動した後の結果について、うまくいっても、いかになくても、自分自身で責任をもてるようになることも大切です。

熊野東中学校では、自律するために必要な力として、「やり切る力、協働する力、挑戦する力」の3つの力を掲げています。

一つ目の「やり切る力」ということについては、今年度の初めから繰り返し話してきているので、生徒の皆さんは日ごろから意識して生活してくれていると思ひます。今、世の中で活躍されている多くの方は、何かをやり切っている人です。毎日継続して取り組むことは大変なことです。言い訳をせず継続して取り組んでいると、ある時、急に景色が変わる瞬間があります。水は99度まで熱しても見た目上は変わりませんが、100度を越えた瞬間に水蒸気になるという大きな変化が起こります。多くの人は、50度や60度の時点で努力をやめてしまいます。大切なことは、変化が起こるまでやり切ることです。今年度は、3つの力の中でも、この「やり切る力」ということを特に大切にしています。

二つ目の「協働する力」についてです。自律するためには、必ず誰かの助けが必要になります。例えば、自分で考えて判断しようとした時に、どうしても自分なりの答えが見つからない時があります。そんな時に、色々なアドバイスをしてくれる人がいることはとても大切です。また、どうしても一歩が踏み出せない時に、そっと背中を押してくれる人も必要かもしれません。自律するためには、互いを思いやり協力し合える仲間が必要です。

三つ目の「挑戦する力」についてです。先ほどお伝えしたとおり、現在は正解がわかりにくいと言われる世の中です。このような世の中では、何度もチャレンジして、失敗を繰り返しながら、その失敗を次へのエネルギーに変えることができるようになることが大切です。挑戦には必ず失敗が伴います。私は、「今日は何を成功した？」ではなく、「今日はどうな良い失敗した？」と言い合える学校になればと考えています。

今日は、あらためて熊野東中学校の学校教育目標について話しました。皆さんが、今後、ますます3つの力を身に付けて、自律することができることを願って、1学期終業式の式辞とします。1学期は本当に良く頑張りました。また、2学期も元気に会いましょう。

職場体験学習ありがとうございました！！

7月7日(火)～9日(木)に町内の32事業所で職場体験学習を実施させていただきました。ご多用中にもかかわらず、多くの生徒を受け入れていただいた事業所の皆様ありがとうございました。普段の学校生活とは違う環境の中で学ぶ生徒たちは、いつも以上に輝いて見えました。3日間のという短い期間の体験でしたが、事前学習も含めたこの度の学びは生徒たちの大きな財産になったと思います。今後は、この職場体験での学びを「くまの魅力発見図鑑」としてまとめていく予定です。



<職場体験学習を終えて 生徒の振り返り>

- 今日は、3日間を通して目標としていた「みんなと仲良くなり全力でやりきる」ということが本当によくできたと思います。先生の視点ややりがいも何となく肌で感じることができ、職場先に選んで良かったです。(熊野第四小学校)
- 職場体験を通して私が一番に思ったことは、この筆づくりの仕事は集中力と器用さ、落ち着きがないとできないということです。繊細なものや失敗したらやり直さなければならない作業が多く難しい工程だと感じたのと、同じ作業を続けるものが多かったからです。私たちは午前と午後で作業が違ったけど、本来ならおそらく午前も午後も同じ作業をすると思うので、集中力が無いとまずできないと感じました。今後の学校生活でも、それぞれ必要な力だと思っているので、がんばってその力を身に付けられるようにしたいです。(晃祐堂)
- 職場体験をする前は、「働く」って普通にみんなと仲良く接して、お客さんに商品を渡したり、対応したりするぐらいかなと感じていたけど、いざ職場体験をすると、結構大変で、ずっと立っていると足がとても疲れると思いました。これを毎日されているふくえどうの方は本当にすごいと思いました。(ふくえどう)

総合的な学習の時間における学び

総合的な学習の時間で、おおぞら高校の先生方にお越しいただき、授業をしていただきました。

第1学年では、自分の好きなことについてグループで共有し、互いに質問し合うことで新たな気づきを促すといった内容でした。授業後の生徒の感想には、以下のような内容が多く見られ、新たな気づきにつながる貴重な機会となりました。



- 班のみんなに質問したり、されたりすることで班の人の好きなことの理由など、最初は知らなかった思いや班の人の好きなことをたくさん知ることができました。質問されることで、自分で考えられる機会にもなったし、あらためて考えることもできました。今回の授業で、好きなことに対する気持ちも少し変化してもっと好きになれたし、自分のそのものに対する気持ちにも素直になって考えることができたので、今日の授業をうけることができて良かったです。
- 私は自分の好きなものがはっきりと分からなかったけど、本日の授業を受けて、「私はこれが好きなんだ。」と改めて自分の好きなもの、やりたいこと、理想図がはっきりしました。「私が、2年生、3年生になるにつれ、どんどん変わっていくのかな。」と思いました。これからも自分の理想図を追いかけて、良い大人になりたいです。ありがとうございました。